第７号

リラのいえ

2011 年８月発行

無常ということ

認定特定非営利活動法人スマイルオブキッズ　代表理事　　田川　尚登

歴史の積み重ねを、常に紐解きながら暮らしていくことが必要だと痛感した東日本大震災から大きく何かが変わったように感じる。一瞬にして家族が、住まいが、街が……昨日と全く違う状況に変わり果てた悲しい現実を前にしては、被災された方々に心よりお見舞い申し上げることしかできません。

私たちは、震災の状況を通して改めて家族のつながりや人との結びつきを大切だと認識したのではないだろうか。自分から両親、両親からまたその両親と遡っていけば、同じ村に住み、隣人同士だったかもしれないし、祖先同士がある時には一杯の茶の湯で対面していたかもしれない。喜びや悲しみを自分のことのように考えてくれていたかもしれない。何かの関わりを通してきっと繋がっていたのだろう。

家族という形の中で、ありきたりな一瞬の喜怒哀楽のひと時を家族で共有していることだけでも幸福であることがよくわかった。それは共通の思い出として心の中に蓄積されていく。今日を今を生きていることだけでも幸福なのだと先人に感謝したい。本来の幸福の尺度は、こういう瞬間に生まれているのだろう。

現実は、常にいつも移ろいで同じ状態には一瞬たりとも無いという。生まれるものは消えていくというとき、一瞬という時々に大切なものがたくさんあると自然や先人は伝えている。リラのいえを通して家族が病気の子どもたちに寄り添い、辛苦を乗り越え自宅へ帰っていく姿を目の当たりにして、私たちも利用者から幸福な瞬間を共有させていただいています。

お蔭様でリラのいえも本年６月で開設して３年がたちました。建設準備段階からこれまでに多くの支援者に支えられ、ここまで来られたことに感謝申し上げ、我々 NPO の目的である病気や障害を持つ子どもたちと家族をささえていく活動を今後とも積極的に続けていく所存です。

また本年７月１日より国税庁から認可をいただき、念願であった税法上寄付金控除などが受けられる認定 NPO 法人として新たに活動をしていくことになりましたこと、紙面をお借りしてご報告申し上げます。

ピアニスト・関孝弘氏
『イタリア連帯の星勲章／コンメンダトーレ章』
受章！

世界にイタリア音楽を普及させたということで、イタリア政府からイタリア大統領の名の下『イタリア連帯の星勲章／コンメンダトーレ章』Commendatore OSSI (Ordine della Stella della Solidarieta' Italiana) を７月２０日に受勲しました。ピアノの世界では初めての受勲です。

様々な勲章がイタリアにも存在しますが、この『イタリア連帯の星勲章』は最も歴史の長い勲章です。文化等の貢献に関する勲章で、５段階に階級が別れており、コンメンダトーレ章は、その３番目にあたるものです。

よく耳にするカバリエーレ章は第５番目です。サッカーの中田選手もカバリエーレ章を受けています。

本当はこの叙勲式は３月に挙行される予定でしたが、東日本大震災により７月に延期されたようです。

素晴らしいイタリア大使公邸で行われた叙勲式、これを新たな出発点として、これからも素晴らしいイタリア音楽の世界を皆様に伝え、幸せを共に出来ればと思います。

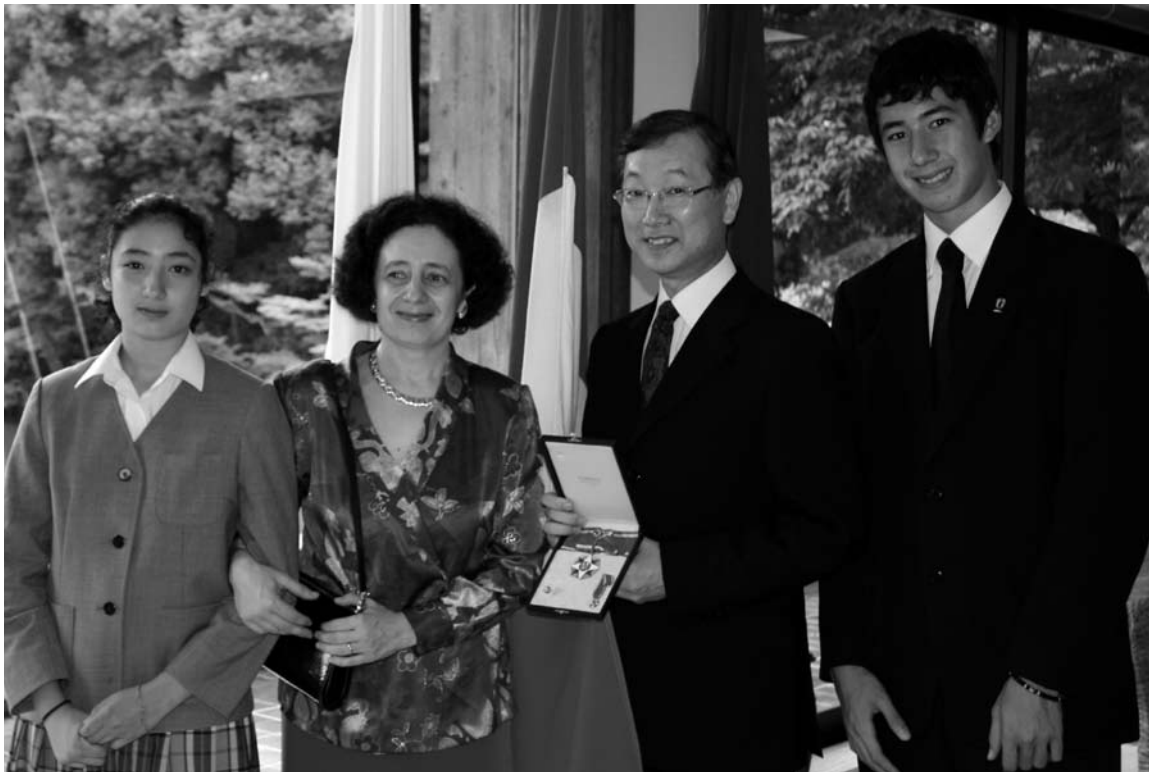
小さな幸せが、皆様にも伝わり、大きな幸せとなりますように。

多くの方々に心を込めて感謝いたします。

ピアニスト
(スマイルオブキッズ理事)
関　孝弘

■コンメンダトーレ章を授与される関氏

■受章後、ご家族と



（2011 年 7 月 20 日、藤原英阜氏撮影）

スマイルオブキッズは、『認定 NPO 法人』になりました

国税庁から『認定』を受けたとは、今後、リラのいえを運営している NPO 法人であるスマイルオブキッズへの寄付金は、所得税の寄付金控除の対象になる、相続した財産をその団体に寄付すると、寄付した財産は相続税の非課税財産として取り扱われるなど、寄付者は税金の計算上、有利な取り扱いを受けることができる制度のことです。

認定 NPO 法人の数は、全国で 218（2011 年 6 月 16 日現在）、神奈川県に主たる事務所のある認定 NPO 法人は 17 団体です。全国の NPO 法人数が約 43,000 ですから、0,5％の狭き門を突破したことになります。

一方、今年の 6 月 30 日に、NPO 法人に関する画期的な寄付税制も施行されています。寄付金に対する税額控除方式の導入です。

今までは、高額納税者が寄付をした場合の方が、安くなる金額が多かったのですが、この改正により、（寄附金額－ 2,000 円）× 40％を所得税額から控除できることになりました。納税をしている人なら、所得の多い少ないにかかわらず、10,000 円の寄付をしたら、国が 3,200 円税金を返してくれる制度です。ただ、納税額が 3,200 円以下の場合には、その納税額を返金してくれます。

なぜ、このような新寄付税制ができたのでしょうか？　その理由の一つは、平成 21 年から『新しい公共』を提唱し、従来の官、行政だけが公共を担う時代は終わり、これからは、『新しい公共』の担い手として、NPO 法人に大きな期待が寄せられているからです。

すでに、NPO は日本の社会の中になくてはならない仕組みとなっているからです。

加えて、今年の 3 月 11 日以降、日本には寄付文化がない、などという誤解を大きく打ち破るように、短期間に多額の善意が、被災者のために集められました。その一部は、NPO によって被災者に還元されていることは、新聞やテレビなどの報道で皆様ご存じのとおりです。

『新しい公共』の担い手として、NPO は、寄付者、支援者の皆様に、経営情報、運営状況をより一層分かりやすくお知らせする必要があると感じています。

税理士・横浜市立大学講師
早坂　毅

「リラのいえ」の宝物

初夏の緑がしたたる玄関前で出迎えてくれたボランティアさんは、変わらず優しいそよ風のようだった。4年半ぶりの再会。「どうぞどうぞ」と案内されたリラのいえは、私が想像していたよりもずっと居心地良さそうに出来上がっていた。

2007年、県が土地を提供し、篤志家の寄付もあって滞在施設の建設が決まった時、取材させてもらった。あの頃はまだ住宅街に残された斜面緑地でしかなかったのに、丘の上の家はすっかり街に馴染んで佇んでいる。

中を見せてもらっているあいだに2人のお母さんが病院から戻って来られた。パタパタと用事を済ませ、気が付くと居なくなっていた。遠慮や引け目を感じる様子もなく自宅のように振る舞っていた2人の姿に、リラのいえを支える人々が居心地の良さに心を砕いていることが見てとれるようだった。

リラのいえに滞在する家族はみんな、悩みや哀しみを抱え、苦しみの中で泣いたり笑ったりして精いっぱいで生きているのだろう。「こんな風に生んでごめんね」とか「代わってあげられなくてごめんね」と自分を責める家族に、ボランティアさんは「あなたはよく頑張っているよ」と声をかけてきたに違いない。私にはわかる。私も同じように励まされたことがあるからだ。

この滞在施設の原稿がうまく書けず、意図しなかった見出しを付けられた。デスク（原稿を直す上司）に変えるよう頼むと「だったら最初からそう書け。この内容じゃこれ以外の見出しは付かない」と怒鳴られた。申し訳なくて「うまく書けなくてすみません」とSさんに電話すると、「『親が悩みを吐き出す場にもなっている』って私が一番言いたいことを書いてくれたじゃない」と励ましてくれた。記者2年目だったが、恥ずかしながら電話口でびーびー泣いたのを覚えて いる。

立派な建物が出来たことは喜ばしい。けれどもリラのいえの宝物は、ボランティアさんをはじめ有形無形の思いやりを差し出す人々の温かみとつながりだと感じる。その温かい輪の一端に、私も記事や寄付、できるときはボランティアなどを通じてつながっていたい。

毎日新聞社（元横浜支局）
毎日新聞生活報道部
稲田　佳代

私たちの宝物

私が滞在施設を知ったのは、20年程前にこども医療センターの本館建て替えを目指して米国の小児病院に見学に行かせてもらった折でした。案内されたMcDonald Houseは広い病院敷地の一角に建つ瀟洒な建物で、患者家族が滞在したり、癌患者がここから外来癌治療に通うのだと紹介されました。

私は米国の寄付文化の奥深さと、小児でも外来癌治療が主流なことに感銘しました。でもこんな施設が必要なのは、国土が広く遠方から患者が集まる米国だからだろうと考えていました。

しかし病院で働くにつれ、県外からも多くの患者さんが通ってきていること、県内でも遠方から朝早い手術のために来院するのは大変なことなどがわかってきました。全国の小児病院にも滞在施設が次々とできているとの話を聞き、こども医療センターにはいつできるのだろうとひそかに思っていました。

2008年NPOスマイルオブキッズの皆様のおかげで、素敵な「リラのいえ」が完成し、病院の中で活動していただいているたくさんのボランティアさんと共に、病院の宝物になりました。家族の要望の強い兄弟保育も始めていただきました。

チャリティコンサートを開いていただいている関さんをはじめ、運営に関わっている多くの皆様に支えていただいて、本当に有り難く思います。こども医療センターも遠方からでもわざわざ来院していただける病院で有り続けるようこれからもがんばりたいと思います。

私の家も近いのでリラのいえの前をよく通りますが、春の芝桜はとても見事で、よそ見運転しそうになります。庭の木々も育ってさらに素敵な眺めになるのを楽しみにしています。

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
副院長　**猪谷　泰史**

「リラのいえ」に期待すること

「リラのいえ」が開設して４年目をむかえ、このたびスマイルオブキッズ様が認定特定非営利活動法人として国税庁より認定されたと伺いました。

横浜市内には 1,200 を超える NPO 法人がありますが、認定法人となるとわずかに 10 団体程度です。それだけ認定法人化はハードルが高いと聞いていただけに、驚きとともに嬉しい気持ちでいっぱいになりました。本当におめでとうございます。

人類の英知が結集して医療技術が進歩すると、多くの生命を救うことができるようになります。医療の進歩にあわせて付随する環境を整えることができれば、もっと多くの生命を救うことができると思います。NICU で多くの命が救われています。

救われた子供たちの中には、その後も神奈川県立こども医療センターや横浜市立大学付属病院といった高度な小児医療を提供する医療機関で治療を必要とする子がたくさんいますし、また、重症心身障害児として重い障害とともに生きていく子もいます。

このような子供たちが生きていく環境を整えることも人類の責任です。こう考えるからこそ、私は政治家として患者家族滞在施設の必要性や重症心身障害児者政策の充実を訴えてきました。

「リラのいえ」は、まさに医療の進歩に付随して必要とされる環境を提供して下さっています。それも行政に頼るのではなく、民間の独自の力で取り組んでいらっしゃいます。こういった活動内容や取り組み方針が評価された結果が、この度の認定法人化に結びついたのでしょう。

認定法人化されると税制控除の幅が広がります。企業など団体からの寄付については、全額損金参入されることから、企業の社会的責任、いわゆる CSR の観点からも注目が集まってくることと思います。

これを契機に、さらに多くの子供たちが救われる社会を創っていくことに邁進されることを期待しています。

横浜市議会議員
鈴木　太郎

病院との協働のモデルとして期待すること

リラのいえの運営事業は、こども医療センターとの協働事業として「かながわボランタリー活動推進基金２１」が平成19年度から支援をしています。私はこの「基金21」の事務局に籍を置き、平成19年度から平成22年度までの４年間お付き合いをさせていただきました。その間に、スマイルオブキッズ関係者の熱い思いと行動に接する機会を得ることで、多くに共感し、ボランタリー活動の大切さを肌で感じることができたことに、大変感謝をしています。

最初にスマイルオブキッズに伺ったのは、リラのいえを建設中の平成19年の秋で、事務局のあった芹が谷のよこはまファミリーハウスです。応対していただいたのは、佐伯御夫妻、当時のこども医療センター総務局長です。会計調査で行きましたから、細かく帳票をチェックしたことを記憶しています。それから４年、リラのいえはまわりの樹々にもすっかり解け合って、患者・家族の大切な拠り所になっています。

今のこの充実したリラのいえの運営に、私は、協働の取り組みも一役買っているのではないかと思っています。協働といいますと、なにやら難しく感じられますが、共通の目標達成に向けて一緒に汗をかく、お互いが学びあう関係です。そのことをひとつひとつ積み上げてきた、ボランティアの方々や病院関係者の努力が、今のリラのいえにつながっているのではないでしょうか。

困難な病気を背負った子どもたちへの最善の治療と生活の質の向上の実現を一体的に受け止め、リラのいえという場で、病院と一緒になって汗をかく中で、患者・家族へのきめ細かい支援が行われているのだと思います。

病院からの請負ではなく、自主的に対等な立場で患者・家族のことを一緒になって考える、簡単なようで難しいことが、お互いの努力で実践されていることは、多くの協働事例を見てきた経験からすると、とても素晴らしいことです。是非、こういった取組み成果を県内外に発信していただきたいと思います。

そして、必要な医療と生活の質を向上する支援が子どもたちだけでなく、こういった困難を背負うすべての人にも広がる可能性を、是非示してほしいと思います。

今年は「リラのいえ」のお花見に御招待をいただきました。ボランティアの方々の手作りの料理におおいに盛り上がり、当日はあいにくの雨模様でしたが、室内にはたくさんの花が明るく輝いていました。今度また、リラのいえの花を見に伺っていいですか。

前かながわ県民活動サポートセンター
長野　義和

利用者の声

今回、娘 (小学 4 年生) の食物アレルギーの治療で大分県から利用させていただきました。

地元ではなかなか受けられない経口免疫療法をこども医療センターでお世話になり、大きな成果を得る事ができました。

「2 歳位になったら治る」、「小学校に入学する頃には大体治る」・・・と言われ続け、いつの間にか 9 歳になっていました。何時まで経っても先の目えない除去生活・・・本当に大変でした。

治療を受け短期間で牛乳を 200cc 飲めるようになり、そばも解除、卵も少しずつ食べられるようになってきています。まるで夢のようです！！やっと光が見えてきました。これから娘の生活は大きく変わることでしょう。医療センターの名医、栗原先生と染宮先生には心から感謝しております。

3 週間あまりの入院生活でしたが、遠方で交通費だけでも往復 10 万円近くかかる私共にとって、「リラのいえ」は本当にありがたい存在でした。

良心的な宿泊費や物資の寄付などで、経済的負担が軽減されただけでなく、何よりも心が癒されました。
ふと目に入る素敵な花、手作りのオーナメント、温かい挨拶、マッサージ、ボランティアさん手作りのジャムやスイーツ、お惣菜・・・温かい心を感じながらどんなに癒されたことでしょう！

ボランティアさんご自身の貴重な時間と労力を、私たち患児家族のために費やして下さり、本当にありがとうございます。

リラのいえは皆さんの温かい心がいっぱい詰まった「宝石箱」です。この素敵な「宝石箱」をこれからも沢山の方に利用していただきたいです。

入院中、ある先生に「大きくなったら何になりたいの？」と聞かれ、娘は「・・・あっボランティア !! だって私、困っている人を助けるのが好きなんだもん！」と答えました。このリラのいえに滞在してそう思ったのかもしれませんね。

医療センターの栗原先生、染宮先生、そしてリラのいえに関わるボランティアの皆様方、お世話になり、本当にありがとうございました。

大分県からの利用者より

利用者のお子さんから

わたしがリラのいえで、すごいとおもったのは３つあります。１つめは、家具がだいたいそろっているからです。おおがたのれいぞうこやクローゼットはもっていけないので、おいてあるとべんりだと思ったからです。

２つめは、きふでたてられているのです。みんなのあつめたぼ金の数は8,000万円だからです。それに台所には、食べ物のきふがいろいろあり生活にこまらないからです。ピアノもきふされています。

３つめは、ボランティアです。ボランティアはおおぜいいて24時間せわをしてくれています。

リラのいえはきふやボランティアの人でささえられています。本当にありがたいしせつです。ここにとまれてよかったです。

ありがとうございました。

小学４年生

利用者の声

秋田県から来ました。昨年12月９日から、この春４月19日まで、長期に渡り「リラのいえ」でお世話になりました。わが息子、豪の心臓病が見つかったのは妊娠８ヶ月検診の胎児エコーでした。医師に「この心臓病はかなりの重度です。10年前は手の施しようがなく、看取ることしかできなかった。秋田で手術しても成功した例が１例もありません。東北はダメ、北海道もダメ・・・。でも、日本には名医と言われる方がいます。どうしますか？」それで、すがる気持ちで神奈川県のこども医療センターの門をたたきました。

検査入院、４泊５日。川滝先生は胎児エコーを何度も何度もしてくれました。病名は両大血管右室起始、僧帽弁閉鎖、左心室低形成、大動脈弁下狭窄、心房中隔欠損拡大、卵円孔閉鎖。

川滝先生にも「この心臓病は重度です。心房中隔が閉鎖されていて、穴を開けるのが困難です。以前２度失敗していて、それからと言うものこの症例は断っています。手術しない選択もあります。そう選択したご家族も

いらっしゃいます。おうちでよく話し合って下さい」

その時ほど、辛く、悲しく、絶望した事はありませんでした。そんな時、優しくいてくださったのがボランティアのＳさんです。話を聞いて下さり、励まされ、一緒に泣いてくれました。どんなに救われたかしれません。

幸いな事に、心房中隔に針の穴ほどの隙間があり、これならばと、心房中隔にステントを入れることになりました。ステントを入れるのは始めての試みだったそうです。

12 月 13 日、豪が帝王切開で誕生しました。「オギャー」と力強く産声をあげ、私と対面したのは何秒だったでしょう。産まれてから２時間後に手術、秋田で産気づいたら諦めようと思っていました。

ホッとしたのも束の間、普通であれば薬で対処できる症状がありましたが、薬が効かず手術をして４日後、また手術がありました。麻生先生曰く「この薬が効かない人は初めてです」と苦笑されました。

３月 14 日、グレン手術の予定が、東日本大地震の影響、計画停電のため、３月 16 日に延期になりました。その日は奇しくも私の誕生日でした。心臓病が見つかったのが秋、気がつけばもう春になっていました。

見知らぬ土地で私が元気に過ごせる事ができたのは「リラのいえ」のおかげです。「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」の言葉が有難く、家にいるような安心感がありました。ボランティアの皆様には沢山の温かい言葉を掛けてもらいました。ピカピカに清掃していただき快適に過す事ができました。ボランティアのＳさんをはじめ見返りを求めず、人のために一生懸命な姿に胸をうたれ、世の中には立派な方が沢山いることに驚きました。私も恩返しと言うか、人の役に立つような生き方をしたいと思うようになりました。人生観が変わった貴重な体験をさせていただきました。

明日、いよいよ秋田に帰れます。かわいい豪を抱いて。泣きごとを言わなかった長男（９才）、次男（5 才）を思いっきり抱きしめたいと思っています。褒めてあげたいと思います。

豪を救ってくれたお医者様、看護師さん、保育士さん、リラのいえのボランティアの皆様、支えになってくれた主人、祖父母、駿介、翼、家族のようにご飯を分け合って過した入居者の皆様、本当にありがとうございました。皆様のお陰で困難を乗り切ることが出来ました。リラの花が満開の今、感謝の気持ちでいっぱいです。

秋田県からの利用者より

リラクゼーションボランティア

私が「リラのいえ」で、リラクゼーションマッサージのボランティアを始めてちょうど丸２年になりました。月に一度訪問し、１人 15 ～ 20 分程　施術させてもらってます。

私は 10 年前からサロンにて、英国式リフレクソロジーや整体、アロマオイルマッサージ、ベビーマッサージインストラクターを仕事として行う中で、「日々頑張っているのにサロンに来られない方々にも“癒し”を提供したいな・・・」と考えておりました。そんな時、自治会だよりの裏面に掲載されていた「リラのいえ」の記事を目にし「ここだ！！」と思い、すぐに電話をして伺わせて頂きました。そして施設内を案内してもらった時とてもキレイで空気が良い場所なので十分に癒しの空間になると思い「無理なく末長く続けたい。」という事で月に一度訪問させて頂く様になりました。

利用者の方々は皆、お子さんの看病をされているのでどんなに大変な状況であるか、少しは分かっているつもりでした。しかし施術を受けて下さる方々は、皆さん明るくて笑顔の素敵なママが多い事に驚かされました！もちろん身体は、とてもお疲れで　首肩や背中、腰はとても硬く常に緊張されていることがよく分かります。それでも前向きで頑張る姿に心を打たれ、「お疲れを少しでも癒せたら・・・」という気持ちでいた私の方が　毎回元気をもらっている感じです。また施術後に「ママ達に元気でいて欲しい！ご自身の身体のことをほんの少しの時間でいいから、考えて欲しい！」という願いを込めて肩こり解消方法や予防法、冷え性改善方法など症状に合わせたアドバイスをさせてもらっています。

月に一度の訪問なので、一度しかお会いしない方が多い中で長期滞在されている方とは何度もお会いし、施術後にお茶しながら色々なお話をするとまた翌月お会いすることが楽しみになったりもします。お子さんの看病に追われる大変な日々の中で「リラのいえで肩もんでもらって気持ちよかった～。ラッキーだったなぁ！」くらいの楽しい思い出の１コマとして思ってもらえたら、とても嬉しいです。

これからも一期一会を大切に、小さな「癒し」を提供し続けて行きたいと思います。

ヒーリングセラピスト　高畑　裕美子

ボランティアから

一人のボランティアさんの活動に深く心を動かされ、その方の元で何かお手伝いができたらと願い「リラのいえ」のボランティアにしていただいて３年が過ぎ様としています。

その間、失敗を重ねながらも、スタッフ、ボランティアの皆様の温かいご指導に支えられどうにかこん日まで、続けてこられたのはひとえに「リラのいえ」の温もりでした。やさしさはどんな人の心も溶かしてくれると諭してくれた「リラのいえ」。

月曜日の午前９時から１２時までのたった３時間。仕事は「リラのいえ」のリネン一週間分の使用見込みと FAX で発注する事、後はその日の情況次第です。どんな時でも利用者の方がホッと安らげるようにと心掛けながらここで出会った赤ちゃんや子ども達がそれぞれの病気を乗り越えて１日も早くおうちへ戻れますようにと祈りながら。

悲しいこと、苦しいこと、辛いこと、みんな心に折り込んで明るく生きて行くことの大切さを日々学んでいける場所、それが「リラのいえ」です。

たくさんの出会いにありがとうの気持ちを込めて、これからもどうぞ、よろしくネ。

町田　久美子

キルト製作者から

いつも主婦してなにやかやと忙しくしている私達３人組、平均年齢も 70 歳(？)近くなり年月の過ぎるのがやけに早く感じられるようになりました。

「虹の会」グループでキルトを始めてもう十数年となりました。作品もリラのいえに飾っていただけて大変嬉しく、そして私達の生き甲斐にもなっております。作品製作中は硬くなった脳に「カツ」をいれながらアイディアを搾り、どのような作品なら喜んでもらえるか？アレコレ悩みます。

キルト制作者の方々とキルト（長さ 180cm）

３人元気です～とこのお仕事が続けられるように思っております。ボランティアの皆様にはいつも感謝！感謝です。

虹の会

きょうだい児保育のこのごろ

東日本大震災で被災された方には、心よりお見舞い申し上げます。
こちらでもかなりの揺れでしたが、リラのいえは造りがしっかりしているのでしょう、安心して過ごせる場所であることを実感しました。それと同時に、緊急時の対処のための課題も見えてきました。保育の場では、おぶいひもをすぐ手の届く所に置くようにしました。

最近はきょうだい児保育も知られてきて利用される方が増えてきました。特に春休み、夏休み前後の予約の多い時期と、病院からの緊急の依頼の時には、ボランティアの方に手伝っていただいて対応しています。安全のためにもボランティアの方にはいろいろお手伝いいただき、ありがとうございます。

こんなこともありました。ママから離れると涙が止まらない○○ちゃん、男の人だとニコニコ。ボランティアの方がご主人を呼んでくださって、○○ちゃんは楽しい時間を過ごせました。

ご寄付で購入していただいた、からくり時計の前では、0分にはみんな釘ずけ。時計の前でリズムをとり、隠れてしまう人形たちに手を振ってバイバ～イ。泣いていた子もニコっとなります。

お天気の良い日には、三輪車に乗ったり、滑り台、お砂場遊び、と、どれも皆さんの温かい心に支えられていることに感謝です。

最近増えているのが、土曜日、日曜日、祝日のご利用です。
滞在施設のご利用と併用され、入院しているお子さんとの時間、きょうだい児との時間を有効に使われているご様子です。

また、医療センターの手術の時間に関連し早朝のご利用もあります。できるだけ対応したいとの思いはありますが、いずれも緊急のことで、保育士の確保に四苦八苦してる現状があります。より良い形になっていくよう皆で知恵を出し合って課題を乗り越えていかれたらと思っています。

保育中。ママの手作りお弁当を頂いています。

保育士　大石　貴子

10 年 12 月～ 11 年 6 月までの利用状況

■ 2010 年 12 月～ 2011 年 6 月までの地域別利用者

青森	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	新潟	富山	石川	長野	静岡
2	11	6	7	3	1	1	2	4	12	2	2	1	3	1
愛知	岐阜	奈良	大阪	兵庫	京都	大分	長崎							
8	3	3	1	3	3	2	1							
神奈川県内	南足柄郡	中郡	足柄上郡	足柄下郡	小田原市	真鶴町	湯河原町	厚木市	秦野市	横須賀市	大和市	茅ヶ崎市	平塚市	相模原市
	3	3	8	5	11	1	1	3	4	12	5	1	1	9
伊勢原市	藤沢市	鎌倉市	川崎市	**横浜市内**	都筑区	青葉区	緑区	泉区	戸塚区	旭区	鶴見区			
1	4	6	10		3	3	1	1	5	1	1			

■リラのいえ・利用状況（2010 年 12 月～ 2011 年 6 月）

月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
家族数	25	22	22	32	29	23	32
宿泊数	205	206	165	167	214	168	132
利用者数	409	368	324	373	447	322	269
稼働率	82.7%	83.9%	73.7%	67.3%	89.2%	67.7%	55.0%

■きょうだい児預かり保育・利用状況（2010 年 12 月～ 2011 年 6 月）

月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
件数	25	40	33	58	37	41	39
人数	25	41	33	62	38	43	42
預かり時間	79.8	130	93.5	187	126	147	136

認定特定非営利活動法人
スマイルオブキッズの活動に
ご支援ありがとうございました

2010 年 12 月 22 日から 2011 年 6 月 30 日まで
敬称を略させていただきます。記入もれや誤字等ありましたらお知らせを頂きお許しください。

【寄付によるご支援者】

羽田貞子 / 大橋康代 / 匿名 / 鈴木邦子 / 平野章 / 善然寺 / 喜入久美子 / カトリック藤沢教会 / 堀川浩邦・恵子 / 張健 / 安嶋裕美 / 水谷公子 / 根本一樹 / 森晃一 / 笹野淳 / ホンダカーズ横浜南 / 吉田多紀江 / 石丸彰 / 小林整治 / 森田知子 / 大竹裕也 / 塩川英一 / 大松健三 / 宋美智江 / 荻原順子 / 佐々木裕子 / 細井椙子 / 佐藤綾子 / 樋口とみ子 / 高尚子 / 岩瀬マサ子 / 松島純子 / 柳原隆夫 / 守谷明美 / 渡邊良晴 / 塩森芳枝 / 横山新一郎 / 松村順子 / 立石諒子 / 平澤陽子 / 大久保照子 / 今村恭子 / おぐちこどもｸﾘﾆｯｸ小口弘毅 / さいとう小児科 / 江草真澄 / 竹内昭子 / 横浜市南区社会福祉協議会 / 宮沢政文・紘子 / 安西博・久 / 三浦則子 / 佐伯慎二 / 大井美嬉子 / 高林良宗 / 川上賢治 / 小関咲子 / 石川永 / 野村則子 / 伊藤是孝 / 石森眞基子 /(株) ｻﾞﾝｺﾞｼﾞｬﾊﾟﾝ / 張健 / 小松宗寿 / 岡田章 / 浅川冨美子 / 鈴木幸夫 / 松井秀孝 / 荒川とし江 / 瀧口秀之 / 上野葉子 / 秋山美代子 / 丹野代吉 / 吉澤幸子 / 金親義幸 / 片岡陽子 / 三杉信子 / 諏訪かほる / 田辺絹枝 / 田中ツネ子 / 加藤茂雄 / 吉田眞弓 / 吉田文雄 / 武内大佳 / 田島香代子 / 永田ちゑ / 稲田深智子 / 菅頭妙子 / 熊谷順子 / 三石佳子 / 鈴木好子 / 豊田ブンクート / 志澤直樹 / 鈴木博子 / 高石直美 / 中川美佐子 / 安達たつ / 安達かほる / 水島朝子 / 渡邉美紀 / 萩野繁治 / 福島亮一 / 安井泰子 / 林勝 / 井上秀枝 / 木原芳嗣 / 清水幸子 / 中山美喜穂 / 村田大輔・洋子 / 鍋島絢子 / 山下則子 / 田代信行 / 木下和子 / 安保さよ子 / 堤京子 / 久保田満子 / 青木茂 / 細谷和一郎 /(株) ブライト ワン / 南智彦 / 半野和之 / 木通昭 / 森山喜代子 / 市川利子 /(株)ﾄﾐ管理ｻｰﾋﾞｽ / 吉富鈴江 / 安嶋裕美 / 白川光政 / 黒田節代 / 湯川保子 / 渋谷佐和子 / 根本祐子 / 鴨井義尚 / 澤島政行 / 若杉章子 / 亀島桂子 / 桐生秀昭 / 鶴田清子 / 前田敦 / 野村愛 / 本田八重子 / 天野由紀江 / 白幡広記 / 斉藤春江 / 橋本睦子 / 花井悦子 / 滝沢たか子 / 志村文江 / 十文字貞夫 / 佐々木利明 / 安楽直代 / 石田美千子 / 鈴木昭 / 芹田俊雄 / 安藤弘子 / 川村博 / 袖山忠一・恵子 / 小林整治 / 上原妙子 / 金子みち代 / 匿名 / 池田龍子 / 福島俊子 / 小林由紀子 / 大久保久仁子 / 桑原かつ子 / 稲本かおる / 初田茂 / 片山純子 / 鈴木久美子 / 大竹裕也 / 小瀬村芳明 / 松田幸子 / 田川正志 / 小牧誉弘 / 浅見和夫 / 石丸彰 / 樋口智子 / 中村淳子 / 矢島美代 / 多田浩二・満恵 / 成田則子 / 鈴木有子 / 川北誠 / 岡和子 / 今井基子 / 阿比留總子 / 清水紀子 / 潤井眞理子 / 芦澤悦子 / 長村由紀子 / 櫻井春海 / 新田恭子 / 小川副代 / 都田和朗 / 中西英樹 / 田中明子 / 榎本みさお / 土居久子 / 大串孝子 / 松下やすよ / 小峰幼稚園 / 山室陽子 / 伊藤寿子 / 爽画会佐藤節子 / 高市方子 / 相澤由希 / 名和幸子 / 古田裕章 / 安田秀二 / 根本一樹 / 吉田昭寿 / 伊藤恵子 / 佐伯努 / 吉田紀子 / 太田仁 / 細谷孝江 / 佐藤恵子 / 酒井一夫・一平・和子 / 近藤和恵 / 開上光代 / 落合光美 / 鶴田直子 / 横倉徹 / 上戸さち子 / 安嶋裕美 / 真道典子 / 中丸づぶら / 吉森英孝 / 島谷健一 / 柴田和代 / 長谷川良子 / 張健 / 兼子玲子 / 匿名 / 小林整治 / 井上智昭 / 泉水恭子 / 大川須美 / 稲野美喜子 / 石丸彰 / 中澤裕一 / 森俊子 / 高橋房子 / 時田初代 / ホシノ小児科医院 / 匿名 / 中村忠雄・洋子 / 高橋静子 / 蓮尾高志 / 門田彰三 / 中山彰代 / 黒田靖 / 和田純子 / 中根はるみ / 横浜和夫 / 吉田拓生 / 花田大・いち子 / 村上次代 / 匿名 / 安嶋裕美

/ 関英一郎 / 大久保八重子・望 / 柳沢京子 / 大倉能子 / 小野ヨシ / 小林整治 / 羽田貞子 / 木谷博子 / 中田昭次 / 山浦襄司 / 稲川典子 / 淵本千津子 / 石丸彰 / 鎌田慎次 / 山本修二 / 羽鳥廣法 / 柳沢光枝 / 寺澤智恵子 / 鈴木将彦・瑞穂 / 平川篤子 / 岩崎幸代 / 伊藤文博 / 神谷修 / 藤田和夫 / 平野章 / 上田絹子 / 上野皎子 / 高城洋二 / 関孝弘 / 中川美佐子 / 斉藤俊雄 / 佐々木利明 / 匿名 / 大嶋博之 / 川村征雄 / 佐伯トシコ / 毎日新聞東京社会事業団 / 石賀 / 伊藤久史 / 小林整治 / 安達かほる / 岩崎真一郎 / 岩崎幸代 / 石丸彰 / 安嶋裕美 / 須藤ナヲ / 小嶋英雄 / 小嶋冨美子 / 高橋玉恵 / 清水悠華 / 小倉小夜子 / 川島浩子 / 岡村早知子 / 稲田佳代 / 張健 / 田島信二 / 田中朝美 / 松本洋子 / 伊澤リヨ / 山下順三 / 安嶋裕美 / 磯ヶ谷政久 / 匿名 / 田川清 / 安藤則雄 / 鈴木美登里 / 吉田賢一 / 松尾忠雄 / 田川尚登 / 小林整治 / 張健 / 萱畑佳代子・祐子 / 平野章 / 町田久美子 / 加藤文子 / 石丸彰 / 高石直美 / 白谷弥生子 / 須佐井信子 / 森晃一 / 武内大佳 / 安嶋裕美 / 張健 / 羽田貞子 /

【よこはま夢ファンド】2010 年 12 月 1 日〜 2011 年 5 月末まで報告を受けた方
ふかわ矯正歯科府川俊彦 / 岩田慶隆 / 生田隆行 / 大竹裕也 / 清水久美子 / 大竹裕也 / 石井康博 / 坂本比呂子 / 大竹裕也 /

【物品によるご支援者】2010 年 12 月 21 日〜 2011 年 6 月末まで
大橋康代 / 東海林豊 / 沼沢静江 / 末森明美 /(株) ザンゴジャパン / 小松眞子 / 平野 / 八王子流通センター / 吉田多紀江 / 中道真由美 / 皆川友希 / 広川直子 / 相田敬子 / 宇佐美写真館 / 白谷弥生子 /(株) ザンゴジャパン / 河野ひろみ / 松田 / 河東大詔 / 小原淳 / 大久保照子 / 鶴田清子 / 秦野の中川 / 清水建夫 / 柳澤京子 / 岩澤品子 / 浅川富美子 / 金子みち代 / 太田達則・礼子 / 増田眞理子 / 乙川篤子 / 有本淳子 / 土屋タキ子 / 宮川利津子 / 杉山さおり / 新田香代子 / 鈴木万由美 / 三宅礼子 / 井上秀枝 / 白谷弥生子 / 西田幸子 / 金子博恵 / 草場春美 / 中川 / 中丸つぶら / 守谷明美 / 花王株式会社 /(有) 伊勢屋呉服店 / 大河原さき / 田口真理 / 石森眞基子 / 内野大介 / 小出薫 / 羽田貞子 / 伊藤久美 / 山田明美 / 塩森芳枝 / 柳沢光枝 / 虹の会 / 津嶋りえこ / 中山敏朗 / 加藤文子 /(株) 小糸工業労働組合 / 小野寺富男・徳子 / 今川伸子 / 植山睦代 / 西尾博 / 高石直美 / 白谷弥生子 / 横内俊和 / 富谷商店 / 加藤茂雄 /

＊クロネコヤマト：ご家族が帰宅する際の宅急便は 73 個均一料金にてご支援を頂きました。
＊セカンド・ハーベストジャパンより、1/22、2/12,4/23,5/14,6/25 食品提供がありました。
＊東横商事：月 2 回食品の提供、社員よる清掃一般の活動のご支援がありました。
提供品詳細：飲料水・お茶 500 ｍｌ＝ 1320 本 / ラーメン・うどん・そば＝ 556 食 / スープ類＝ 140 食 / 牛丼・中華丼・親子丼の素＝ 30 食　総合計金額¥176,188
＊設備関係の保守管理には神工舎建築工房ほか皆様より一部ご支援を頂いています。
＊リフレクソロジー、整膚（マッサージ）、髪のカットなど専門職のボランティア参加
＊ボランティアはハウスの管理運営、近隣の清掃・整備、保育補助に月 40 名以上のボランティアが最低 3 時間交代で活動に参加し 24 時間管理を行なっております。
ボランティア当直者：約 10 名は夜８時から翌朝 9 時まで

1 週間に 3 時間ほど、活動に参加しませんか。見学・体験など常時受け付ております。

「リラのいえ」
活動報告 (2011.1～7)

2011 年上半期は東日本大震災が発生するなど、日本が大きく揺れた時でした。そんな中でも多くの方にご利用いただくことができましたこと、ありがたく思っています。

以下では、2011 年上半期の主な活動をご報告いたします。

1 月 6 日	リフレクソロジー専門家の高畑氏がボランティアで参加です。年越しのご家族２名がマッサージして頂き、喜ばれました
1 月 7 日	センター内、南養護学校の先生の新人研修見学あり、9 名参加
1 月 16 日	第 6 号会報を発行、1,300 通発送
2 月 3 日	リフレクソロジー（マッサージ）利用者 6 名参加
2 月 19 日	センター講演会で保育の依頼あり。 リラのいえ保育士とボランティア参加
2 月 26 日	病院と患者家族の関わりについて研修会を開催（外部施設運営者 6 名とセンター医師、職員 4 名と「リラのいえ」ボランティア参加）
2 月 27 日	ひな祭り昼食会を開き、患者家族と一緒に頂く（ボランティアさんのアイデア料理の手作りを何品か作り喜ばれる）
3 月 11 日	東日本大震災が発生し停電になる。当直は 2 名参加。ボランティアの手伝いもあり、利用者に温かいものを出し落ち着いてもらえた
3 月 16 日	リフレクソロジー（マッサージ）4 名参加
3 月 28 日	整膚（マッサージ）専門家の岩橋氏の参加始まる。4 名参加
3 月 30 日	認定特定非営利活動法人取得のための申請書を提出する

お花見食事会

4月	毎日新聞「生きる」キャンペーン、小児がん征圧募金より寄付を頂く リフレクソロジー（6名参加）/ 整膚（7名参加） 「リラのいえ」敷地と丘全体の雑草刈りを松尾造園へ依頼
4月7日、14日	センター新旧職員の「リラのいえ」新人研修見学会に、91名の参加
4月9日	理事会を開き、平成22年度の活動報告を行う。“芝桜お花見会とお疲れ様会”を開く（患者家族、支援者、ボランティアが参加し楽しむ）
5月	リフレクソロジー（4名参加）/ 整膚（3名参加）
5月10日	認定特定非営利活動法人申請後、初めて審査と現地見学が入る
5月12日	寝具の入れ替えを利用者さんも参加して行う (年1回新しいものと交換)
5月16日	県立 こども医療センターのバザーのお手伝いに参加
5月22日	平成23年度総会開催（会場：横浜サポートセンター）
5月下旬	千葉県千葉市美浜区打越の幕張ベイタウンクリニックモール、フリースペースにパネル展示、広報活動を行う
6月	リフレクソロジー（4名参加）/ 整膚（若干名参加）
6月上旬	「リラのいえ」敷地坂道補強工事と駐車場整備（施設利用者の駐車場）
6月7日	横浜桐蔭大学サービスラーニングのプレゼンに参加
6月末	「リラのいえ」敷地丘全体の雑草刈りを磯ヶ谷緑化へ依頼
7月1日	国税庁より認定NPO法人の認可を受ける

※スタッフ会議を毎月２回と臨時にも行う
※保育会議参加　※センターと協働事業運営会議月１回、センター全体会議にも月１回参加

リラのいえが大好きな子どもたちです

リラのいえの合い言葉「タッチ」から信頼関係を

お知らせ

8 月 13 ～ 14 日	重症心身障がい児・者と家族のための「第３回地域がささえるふれあいコンサート」３公演開催予定（横浜ラポールシアター） 一般参加者／お手伝い募集中
11 月初旬	「リラのいえ」バザー予定 バザー用品の提供をお願いします
2012 年 2 月 18 日	シンポジウム 「県との協働事業（滞在施設運営事業など）から見えてきたこと」 スマイルオブキッズ主催　（県民サポートセンター　参加自由）
2012 年 6 月 15 日	チャリティピアノコンサート 2012 みなとみらい大ホール

ご支援のお願い

【支援サポーターのお願い】

◇ 賛助会費として（1 口 \3,000）
◇ 寄付として　※当団体からの領収書は寄付金控除の対象になります。
■賛助会費・寄付金のお振込先：
■郵便振替口座名義：NPO 法人　スマイルオブキッズ
■郵便振替口座番号：００２５０－０－１１３８１７

【物品寄付のサポート】

◇ 施設で使用する未使用の物品の提供
（日用消耗品・食品（嗜好品他）・雑品）
◇ バザーで販売する未使用の日用品雑貨・衣類の提供

【労力・時間を提供するサポート】

◇ 施設事務所での電話対応・入退室準備・案内
◇ 施設内外の環境整備（施設内の掃除・施設外の清掃・草、木の手入れ）
◇ 利用者への対応（例：買い物代行、送り迎え、保育ボランティア）
◇ 専門のサービス提供（ヘアーカット・セラピー・料理・バザー用手作り品）

リラのいえ
〒 232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川 4 丁目 1124-2
電話・FAX：045-824-6014　e-mail：lilanoie@lilac.plala.or.jp

会報発行者 : 認定特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ
http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp